

17. 総合型選抜（事前面談型）に関する Q&A

Q.1 総合型選抜（事前面談型）を実施する目的は何ですか？

A.1 従来の大学入試選抜制度では、受験生の自己アピール能力や、学科試験の点数などによって合格者を決定しています。しかし、各大学の学部学科の特色が明確になるにつれて、勉学や将来の進路への目的意識をもった人がこれまで以上に強く求められるようになってきました。これからは、受験生の希望や目的意識が、学部学科の教育方針と十分に合致することが必要です。

倉敷芸術科学大学では、明確な目的意識をもった受験生を受け入れることを目的に、総合型選抜（事前面談型）を導入しています。本学の総合型選抜（事前面談型）では、学部学科の教育方針や求める人物像を受験生の方に理解していただくとともに、持参作品、適格者確認調査、レポート課題、面談などにより、本人のやる気、将来の可能性などを総合的に評価していきます。

Q.2 総合型選抜（事前面談型）は総合型選抜（文武両道型）とどこが異なるのですか？

A.2 総合型選抜（文武両道型）では学科試験を課さず、グループワーク、提出書類（調査書を含む）などによって評価を行い、可否を決定します。一方、総合型選抜（事前面談型）では、持参作品（芸術学部）、適格者確認調査（全学部学科）、レポート課題（生命医科学科）および十分な時間をかけた面談（全学部学科）によって本人の能力や資質を多面的・総合的に評価します。従って、総合型選抜（文武両道型）とは異なり、高等学校の調査書は面談の申し込み時に提出する必要はありません。面談後の出願時に提出していただきます。

Q.3 受験生にとって総合型選抜（事前面談型）はどのようなメリットがあるのですか？

A.3 総合型選抜（事前面談型）においては、受験生の方の提出された相談票をもとに時間をかけて面談を行います。その中で、学部学科の教育方針や求める人物像と合致しているか確認します。一方、受験生の方には自分のやりたい勉強や研究ができるかどうか、不安要素などあれば質問をしていただきます。こうして面談を通じて、お互いの理解が深まると考えています。

Q.4 総合型選抜（事前面談型）はどのような方法で選考するのですか？

A.4 主に面談による総合的な評価になりますが、芸術学部では持参された作品の評価と適格者確認調査の結果、生命科学部と危機管理学部では適格者確認調査の結果、生命医科学科では適格者確認調査の結果に加えレポート課題も選考の材料となります。

Q.5 現役生（高等学校3年生）しか受験できないのですか？

A.5 現役生（高等学校3年生）に限らず、高等学校を既に卒業している方、高等学校卒業程度認定試験合格（見込み、大検も含む）の方も受験できます。

Q.6 総合型選抜（事前面談型）は専願制ですか併願制ですか？

A.6 総合型選抜（事前面談型）では、面談終了後、出願許可通知を受領してから出願となりますが、その出願される時点で専願となります。なお、面談の申し込み手続きは無料です。出願する際に検定料が必要となります。

Q.7 総合型選抜（事前面談型）で不合格になった場合、他の入試を受験することはできますか？

A.7 それぞれの入試の出願条件を満たしていれば、その後の学校推薦型選抜や一般選抜などを受験することができます。

Q.8 総合型選抜（事前面談型）で合格したのですが、入試特待生をめざし、あらためて受験できますか？

A.8 総合型選抜（事前面談型）は専願制入試ですので、合格した場合他の入試を受験することはできませんが、入試特待生をめざしたい場合に限り、入試特待生制度のある入試「学校推薦型選抜【推薦K方式（入試特待生制度）】・一般選抜【前期A、前期B】」を受験することができます。

また、一般選抜【前期A、前期B】においては検定料免除で出願できます。*

※合格学科を変更して出願することはできません。入学手続（学費の納入）を完了していることが出願条件となります。

Q.9 合格後に課題提出などの入学前教育があるのですか？

A.9 各学部学科によって異なりますが、課題提出や大学での講義等を予定しています。昨年度の実施状況は以下のようになっております。

・デザイン芸術学科

デッサン、絵画、造形物等を制作し提出して頂きました。

・メディア映像学科

与えられたテーマをそれぞれに解釈して作品制作（制作手法や分野は自由）あるいはレポート作成（文体やスタイルなど自由）のどちらか一つを提出して頂きました。

・生命科学科

入学決定者に対し、夢をかなえるにふさわしいアドバイスができるようレポートを提出して頂きました。また、基礎学力が身につくよう課題を与えました。

・生命医科学科

大学入学後に学ぶ上で事前に必要となる基礎知識を出題し、提出して頂きました。

・動物生命科学科

入学決定者に教養や生命科学関連分野のレポートを提出してもらい、添削しました。

動物生命科学科での教育を充実したものにするため、未履修の理科科目等について基礎として必要な学習範囲を設定し、入学後、学力調査を実施しました。

・健康科学科

学科からの課題（基礎学力問題および資格に関するレポート作成等）に対して各自が回答・レポートを提出し、それについて教員がコメントやアドバイス等を行いました。

・危機管理学科

合格者に、危機管理意識に関するレポートや作文、および基礎学力に関する課題を出し、それらを提出して頂きました。

課題1（入学前提出）：「身の回りで感じた“危機”または“危機管理”について（作文）」

課題2（入学後提出）：「危機管理のセンスを持った社会人をめざすための意識づくり（レポート）」

課題3（自宅自習）：基礎学力の習得と勉学習慣の維持

※なお、入学前教育の詳細については合格後、本人に通知します。

Q.10 外国人留学生は総合型選抜（事前面談型）を受験することができますか？

A.10 受験することはできません。外国人留学生選抜（Ⅰ期、Ⅱ期）を受験してください。